

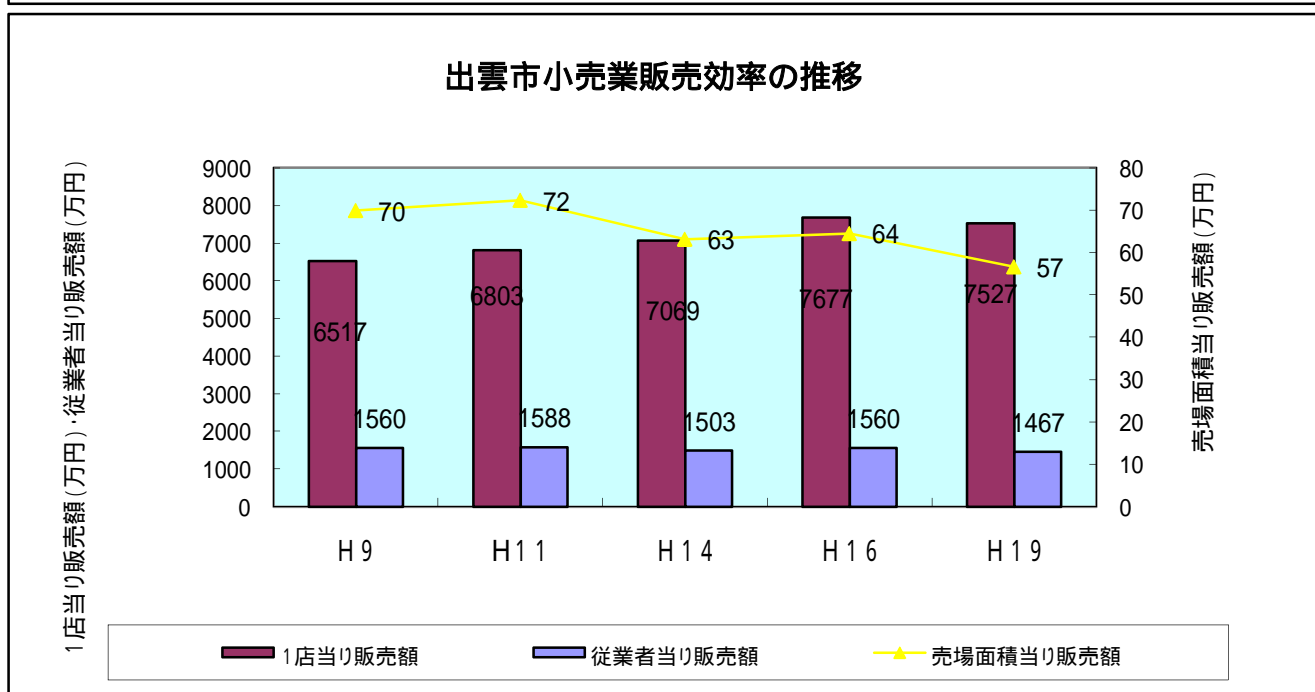
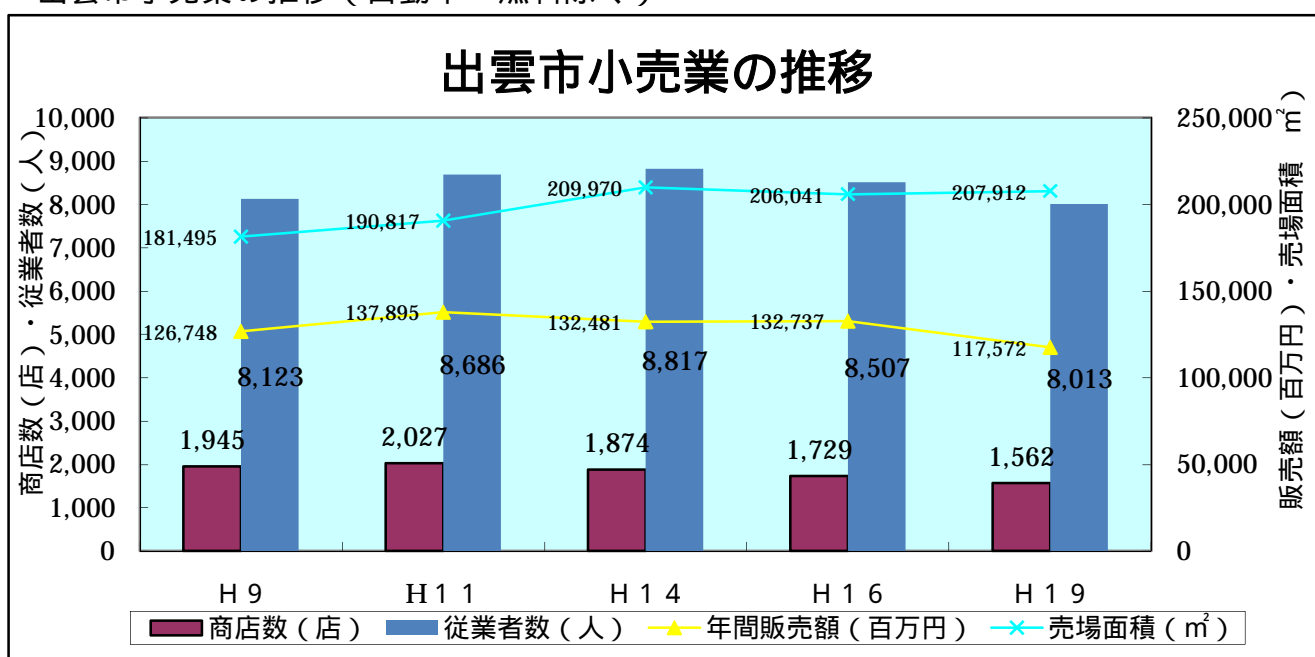
平成19年商業統計結果（小売業）

調査の期日

平成19年6月1日。なお、年間商品販売額は、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの1年間の販売額。商業統計調査は、平成9年以降の調査から5年ごとに実施し、その中間年（調査の2年後）に簡易な調査を実施することとなっている。平成16年調査は、全国すべての事業所・企業を対象とした総務庁所管の事業所・企業統計調査との同時調査（調査表は両調査共通の平易な様式）により実施され、既設の対象事業の捕捉を行っているため数値を時系列で使用する際には注意を要する。

なお、平成16年以前の調査数値については、合併後の行政単位で集計を行った。

出雲市小売業の推移（自動車・燃料除く）



ポイント

- ・平成19年調査では売り場面積以外が減少した。長期的に減少傾向にある商店数は今回189店9.5%減少し、前回から減少に転じた従業者数は569人5.6%引き続き減少した。特に年間販売額は9.6%と大幅に減少した。前回に減少に転じた売場面積は0.4%とわずかながら増加を示した。
- ・小売吸引率、販売額県内シェアともに前回に比べ減少したものの、県内では高い水準を保っているため、県内において出雲市の商業拠点性は高い状態にあることがわかる。
- ・年間販売額が大幅に減少し、商店数、従業者ともに減少したため、1店あたり、従業者あたり、売場面積あたりの販売効率すべてが低下した。
- ・1店あたり、従業者あたり、面積あたりの販売額は県下で2番目、3番目の水準となっている。
- ・1店当りの売場面積は大幅に増加しており、店舗の大型化が進行している。

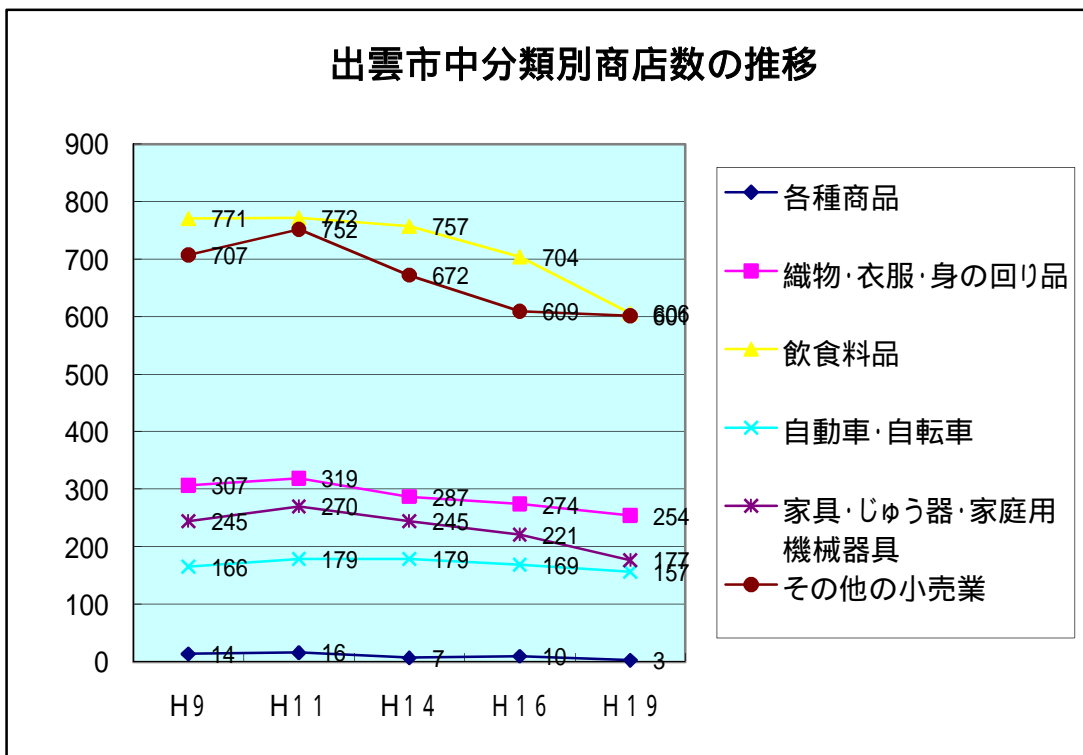
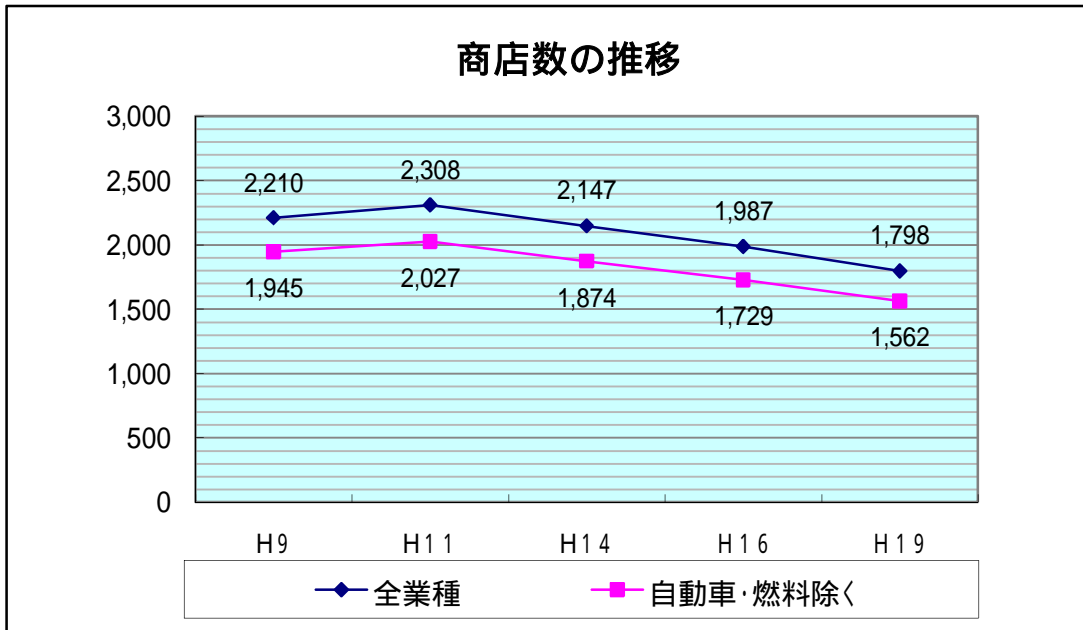
出雲市小売業の推移

		平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年
全体	店舗数	2,210 店	2,308 店	2,147 店	1,987 店	1,798 店
	(対前回増減率)	4.3%	4.4%	7.0%	7.5%	9.5%
	(県対前回増減率)	5.7%	2.2%	7.7%	7.2%	9.9%
	従業者数	9,759 人	10,453 人	10,614 人	10,168 人	9,599 人
	(対前回増減率)	0.8%	7.1%	1.5%	4.2%	5.6%
	(県対前回増減率)	2.4%	7.0%	0.4%	5.7%	4.3%
	年間販売額	1,720 億 8,161 万円	1,827 億 6,778 万円	1,803 億 2,626 万円	1,773 億 7,055 万円	1,602 億 7,249 万円
	(対前回増減率)	0.8%	6.2%	1.3%	1.6%	9.6%
	(県対前回増減率)	5.1%	1.4%	4.1%	2.8%	7.3%
	売場面積	185,721 m ²	194,875 m ²	213,500 m ²	209,961 m ²	210,779 m ²
	(対前回増減率)	1.3%	4.9%	9.6%	1.7%	0.4%
	(県対前回増減率)	4.5%	6.1%	3.1%	1.4%	1.9%
自動車 燃料除く	商店数	1,945 店	2,027 店	1,874 店	1,729 店	1,562 店
	(対前回増減率)	3.6%	4.2%	7.5%	7.7%	9.7%
	(県対前回増減率)	6.5%	2.0%	8.3%	7.6%	10.4%
	従業者数	8,123 人	8,686 人	8,817 人	8,507 人	8,013 人
	(対前回増減率)	1.4%	6.9%	1.5%	3.5%	5.8%
	(県対前回増減率)	2.5%	6.6%	1.1%	6.1%	3.9%
	年間販売額	1,267 億 4,833 万円	1,378 億 9,523 万円	1,324 億 8,148 万円	1,327 億 3,676 万円	1,175 億 7,150 万円
	(対前回増減率)	3.6%	8.8%	3.9%	0.2%	11.4%
	(県対前回増減率)	3.2%	3.2%	6.1%	3.4%	6.8%
	売場面積	181,495 m ²	190,817 m ²	209,970 m ²	206,041 m ²	207,912 m ²
	(対前回増減率)	0.7%	5.1%	10.0%	1.9%	0.9%
	(県対前回増減率)	4.7%	6.4%	3.6%	1.1%	1.6%
	1店当り販売額	6,517 万円	6,803 万円	7,069 万円	7,677 万円	7,527 万円
	(同 県実数)	6,087 万円	6,160 万円	6,309 万円	6,591 万円	6,856 万円
	従業者当り販売額	1,560 万円	1,588 万円	1,503 万円	1,560 万円	1,467 万円
	(同 県実数)	1,558 万円	1,508 万円	1,402 万円	1,443 万円	1,399 万円
	1m ² 当り販売額	70 万円	72 万円	63 万円	64 万円	57 万円
	(同 県実数)	71 万円	69 万円	62 万円	61 万円	56 万円
1店当りの売場面積	93 m ²	94 m ²	112 m ²	119 m ²	133 m ²	
(同 県実数)	86 m ²	89 m ²	101 m ²	108 m ²	122 m ²	
人口100人当り売場面積	123 m ²	130 m ²	143 m ²	140 m ²	142 m ²	
(同 県実数)	112 m ²	119 m ²	124 m ²	125 m ²	133 m ²	
小売吸引率	1.09	1.14	1.15	1.19	1.10	
販売額県内シェア	20.7%	21.8%	22.3%	23.2%	22.0%	

出雲市の状況

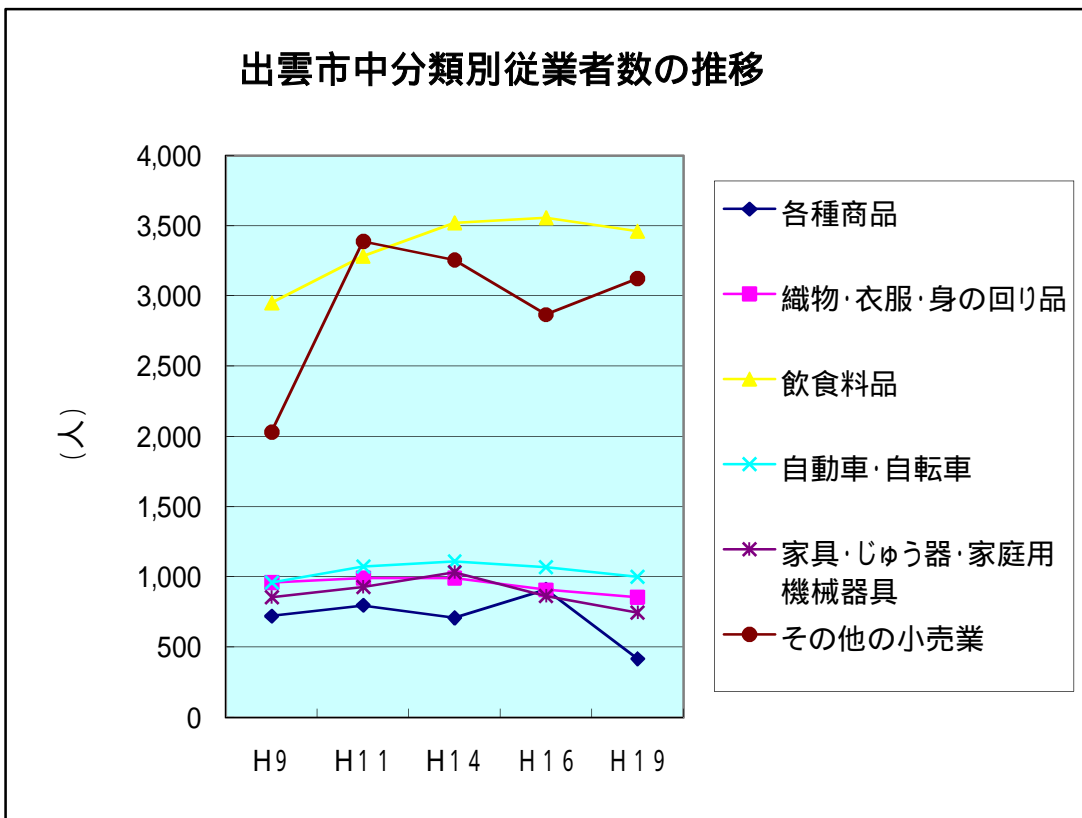
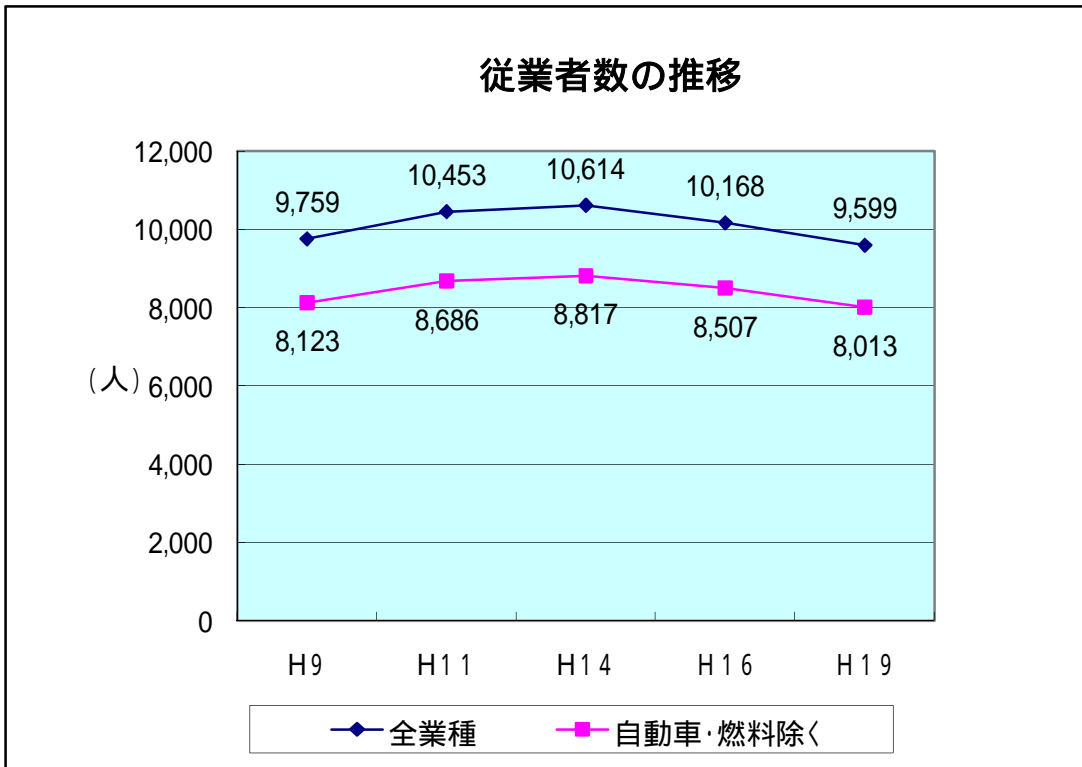
(1) 商店数

商店数（自動車・燃料を除く）は減少が続いている。中分類業種別では、すべての項目で減少した。特に「飲食料品」は100店以上の減少があった。



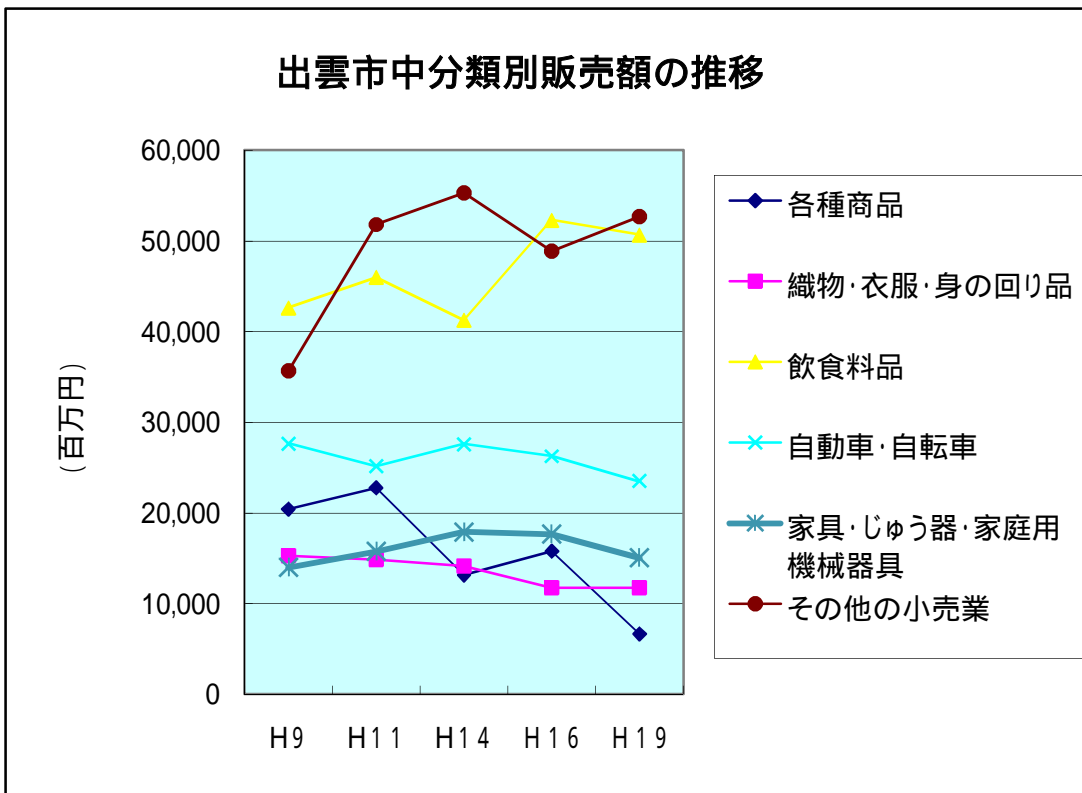
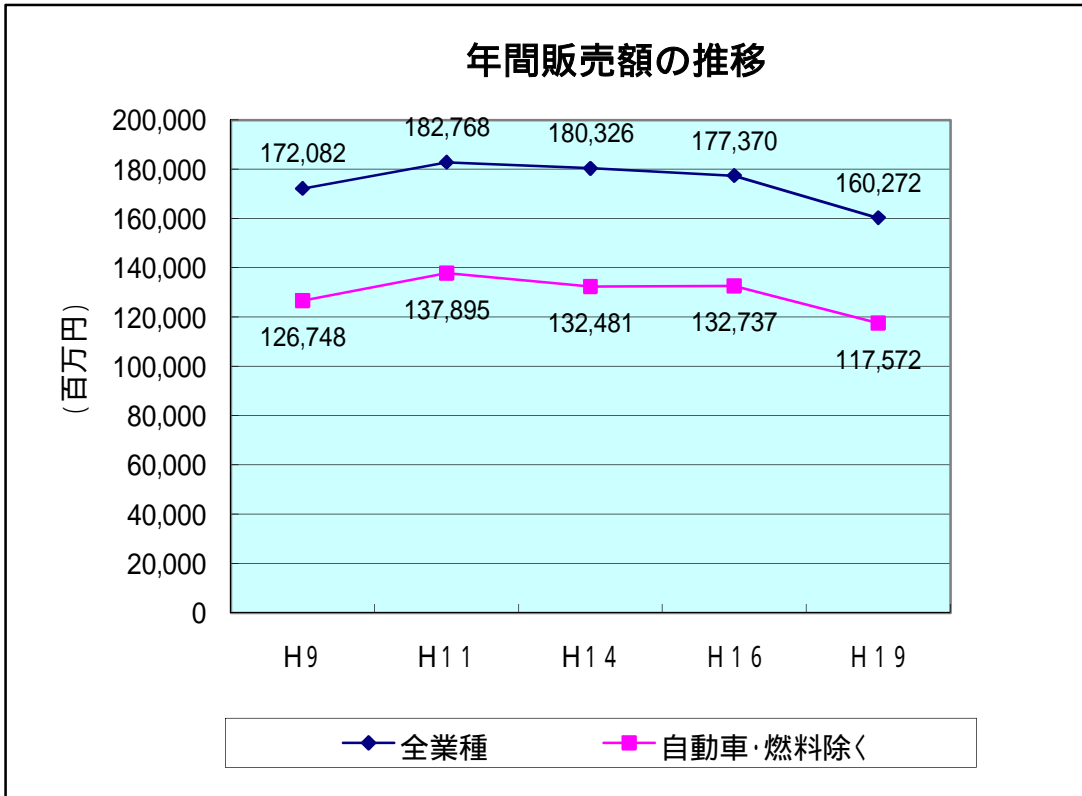
(2) 従業者数

従業者数（自動車・燃料を除く）は、前回に引き続き減少した。「その他の小売業」で257人増加した以外は減少となった。特に「各種商品」では500人近く減少している。



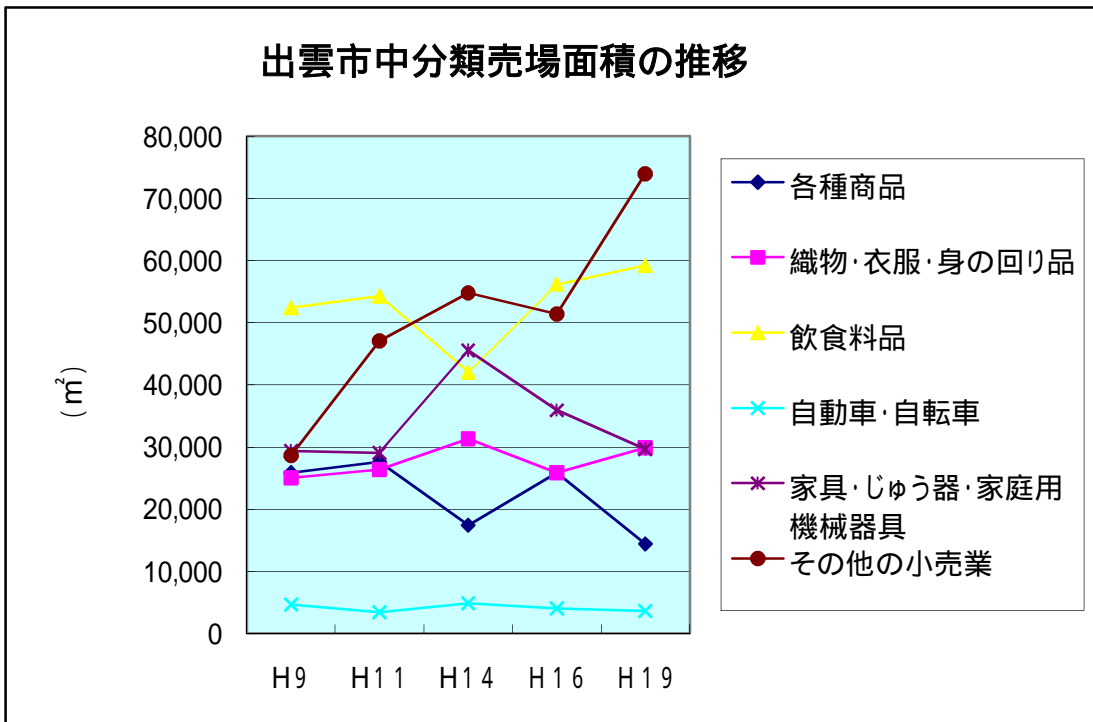
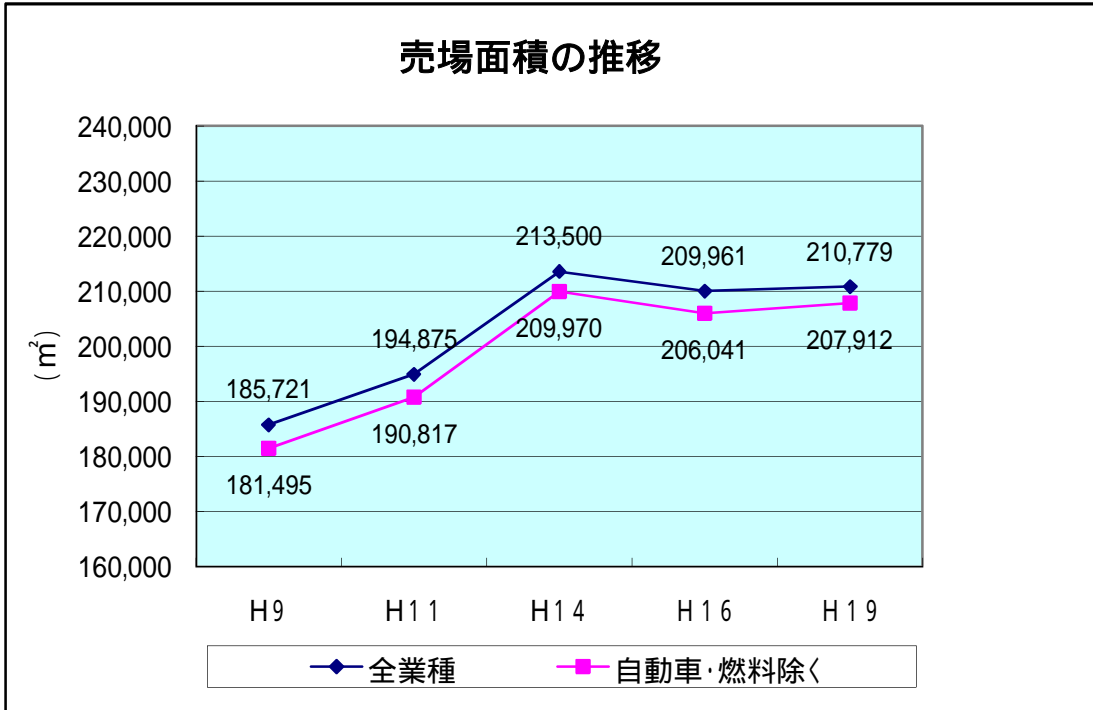
(3) 年間販売額

年間販売額（自動車・燃料を除く）は9.6%の大幅な減少となった。中分類業種別では「その他の小売業」が26億円と増加したものの、それ以外は減少していることが全体の大幅な減少につながった。

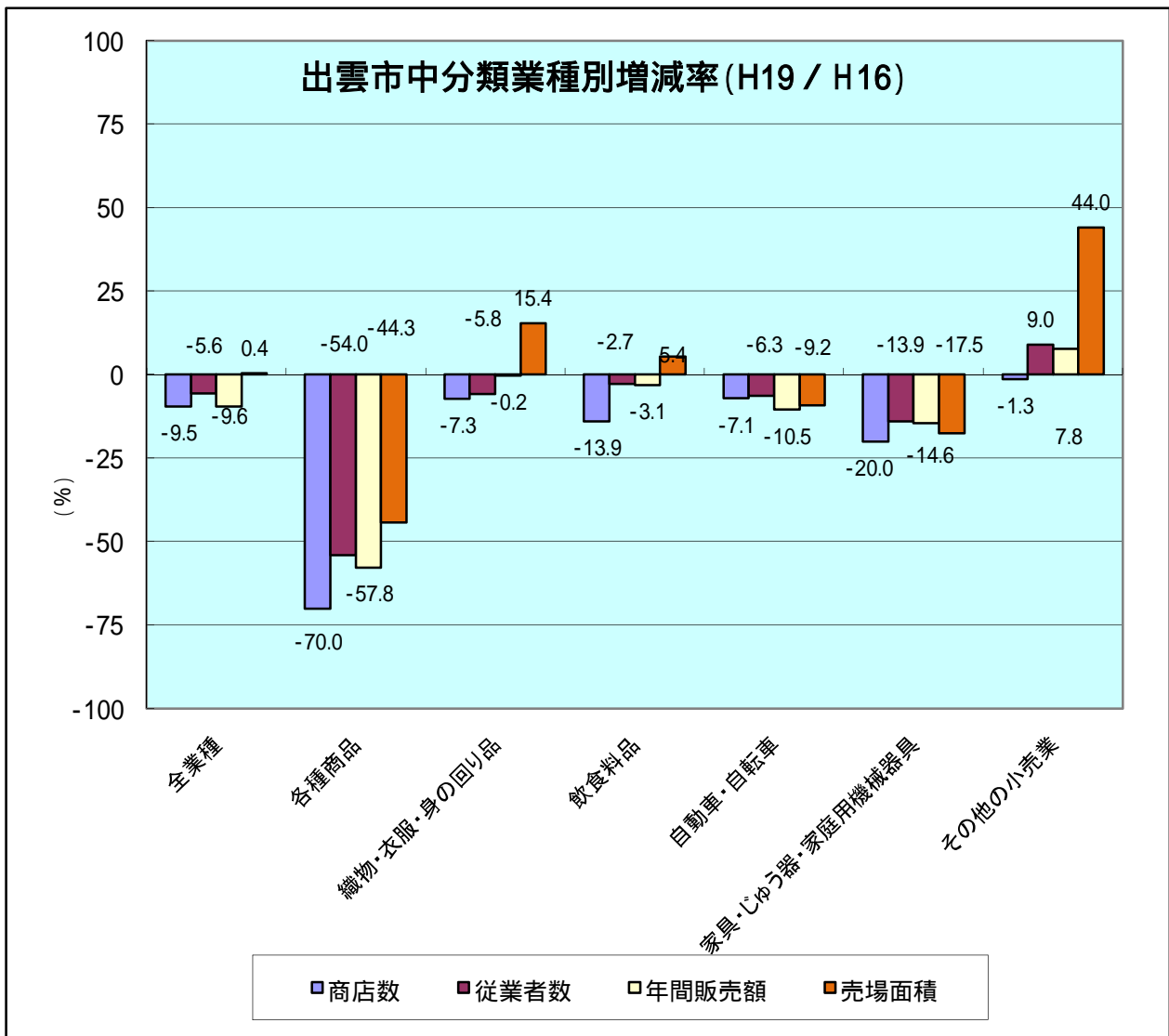


(4) 売場面積

売場面積（自動車・燃料を除く）は過去一貫して増加していたが、前回減少に転じた。今回は微増となったが、特にホームセンターが含まれる「その他の小売業」が 22,624 m²、「織物・衣服・身の回り品」が 3,975 m²、「飲食料品」が 3,061 m²と大幅に増加した反面、「各種商品小売業」が 11,467 m²減少した。



中分類業種別の4項目の増減率を見ると、「各種商品」、「自動車・自転車」、「家具・じゅう器・家庭用機械器具」は4項目とも減少した。「織物・衣服・身の回り品」、「飲食料品」、「その他の小売業」では商店数が減少しているものの、売場面積が増加しており、店舗の大型化が進行している。特に「その他の小売業」は商店数が1.3%の減少の一方、売場面積が44.0%増加している点が注目される。

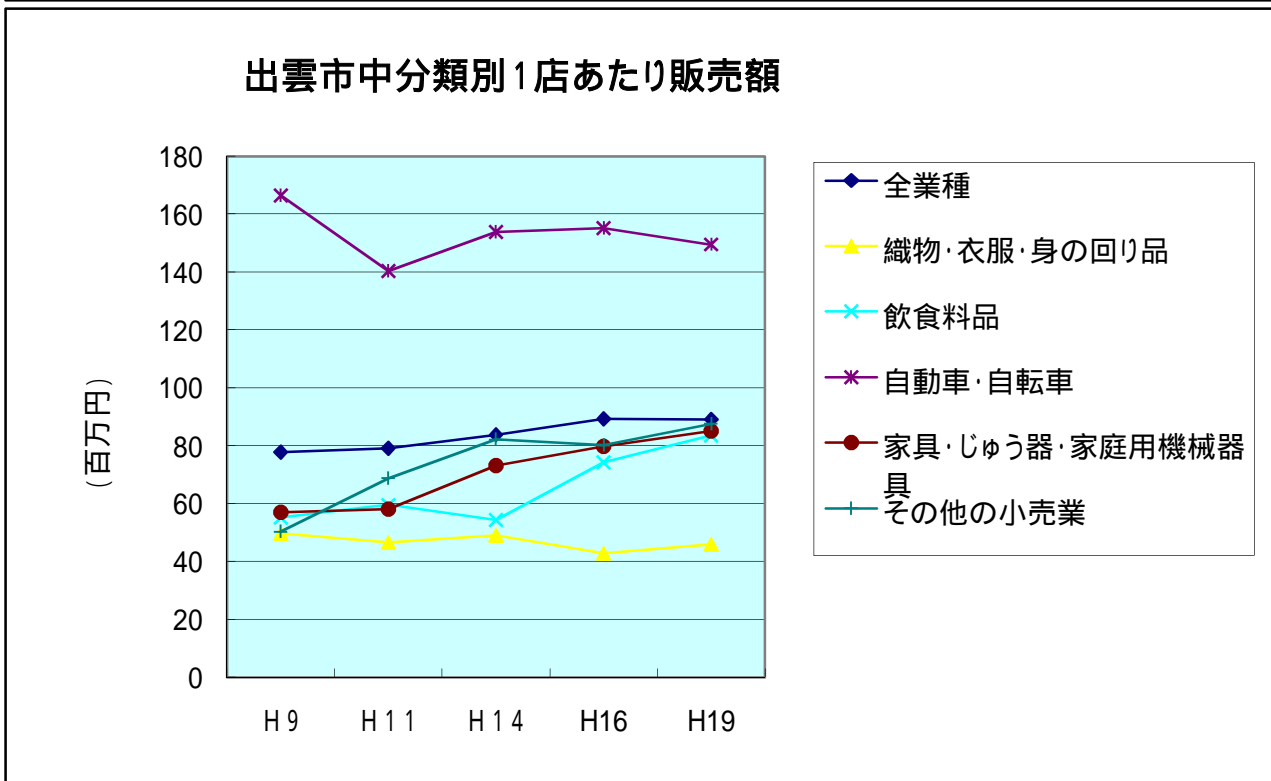
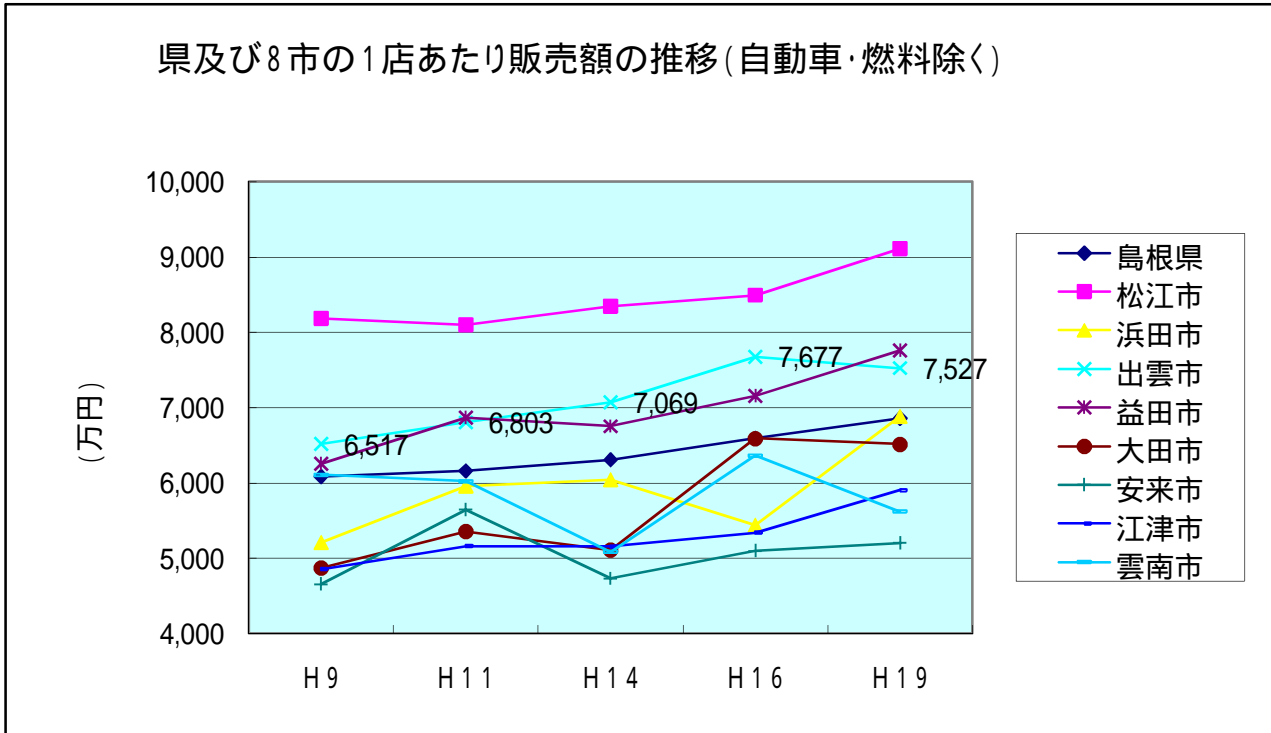


(5) 販売効率

1店当りの年間販売額

出雲市の1店当りの販売額(自動車・燃料除く)は、県平均を9.8%(671万円)上回り、7,527万円で、9,109万円の松江市、7,756万円の益田市に次いでいる。

出雲市の業種別1店当り販売額では、店舗規模の大きい「各種商品」が40.7%(6億4,230万円)の高い増加率を示し、22億2,070万円で突出している(グラフ上には記載していない)。「自動車・自転車」が3.7%減少した以外は、全ての業種で増加している。



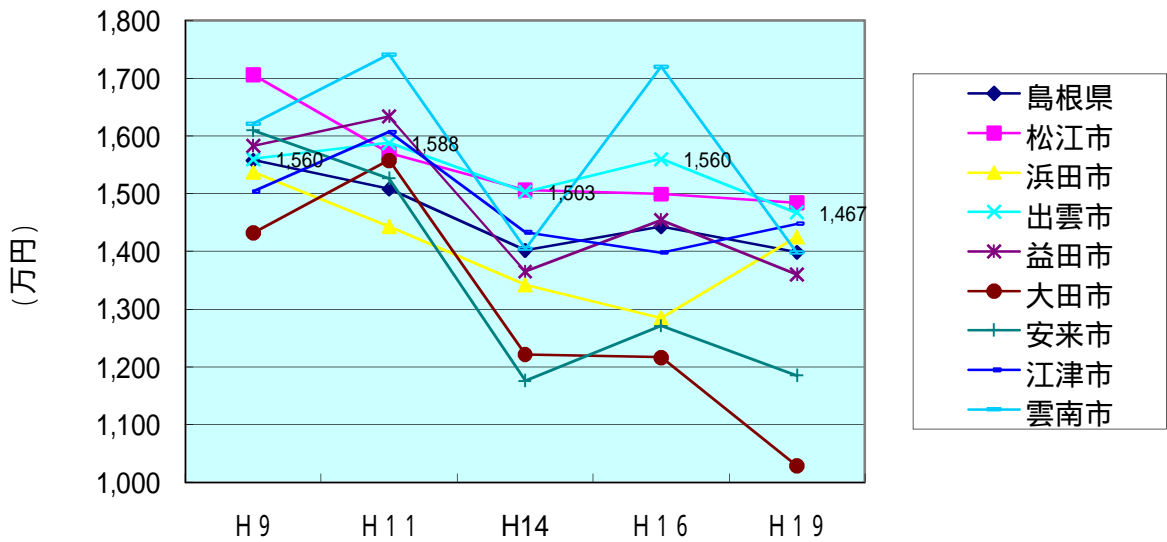
各種商品は平成16年1,578百万円、平成19年2,220百万円

従業者当りの年間販売額

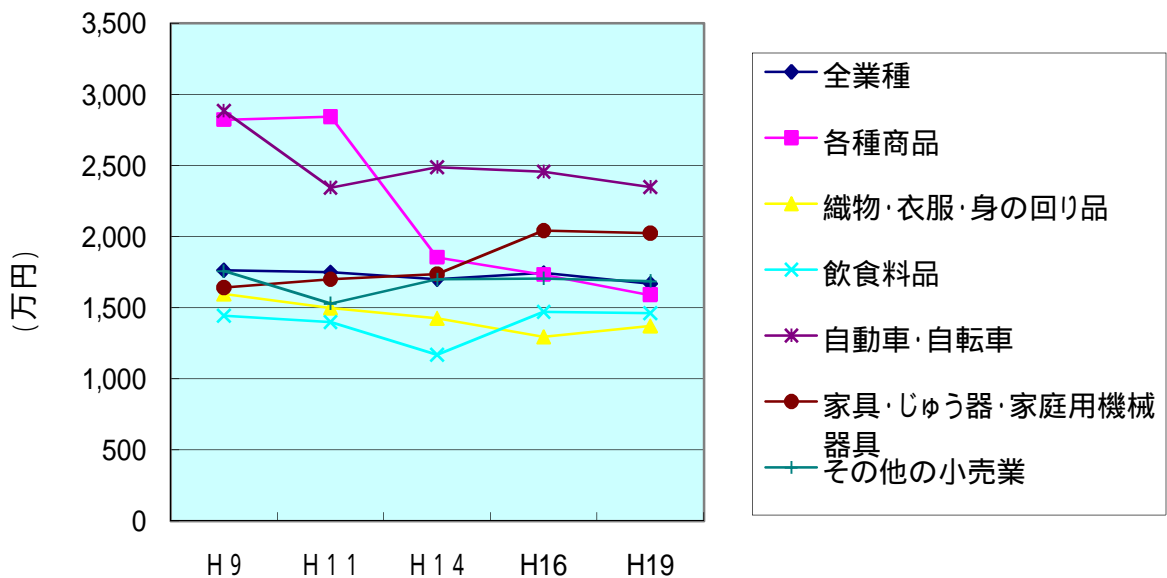
従業者当たりの販売額(自動車・燃料除く)は、県平均が1,399万円で前回に比べ44万円(3.0%)減少した。市部では浜田市と江津市は増加しその他の市では減少した。出雲市は1,467万円で、93万円(6.0%)減少した。実数では、松江市に次いで2番目に高くなっている。

出雲市の業種別従業者当たり販売額では、「自動車・自転車」が引き続き最も高くなっている。唯一増加したのは「織物・衣服・身の回り品」で、その他は微減となった。

県及び8市の従業者あたり販売額の推移(自動車・燃料除く)

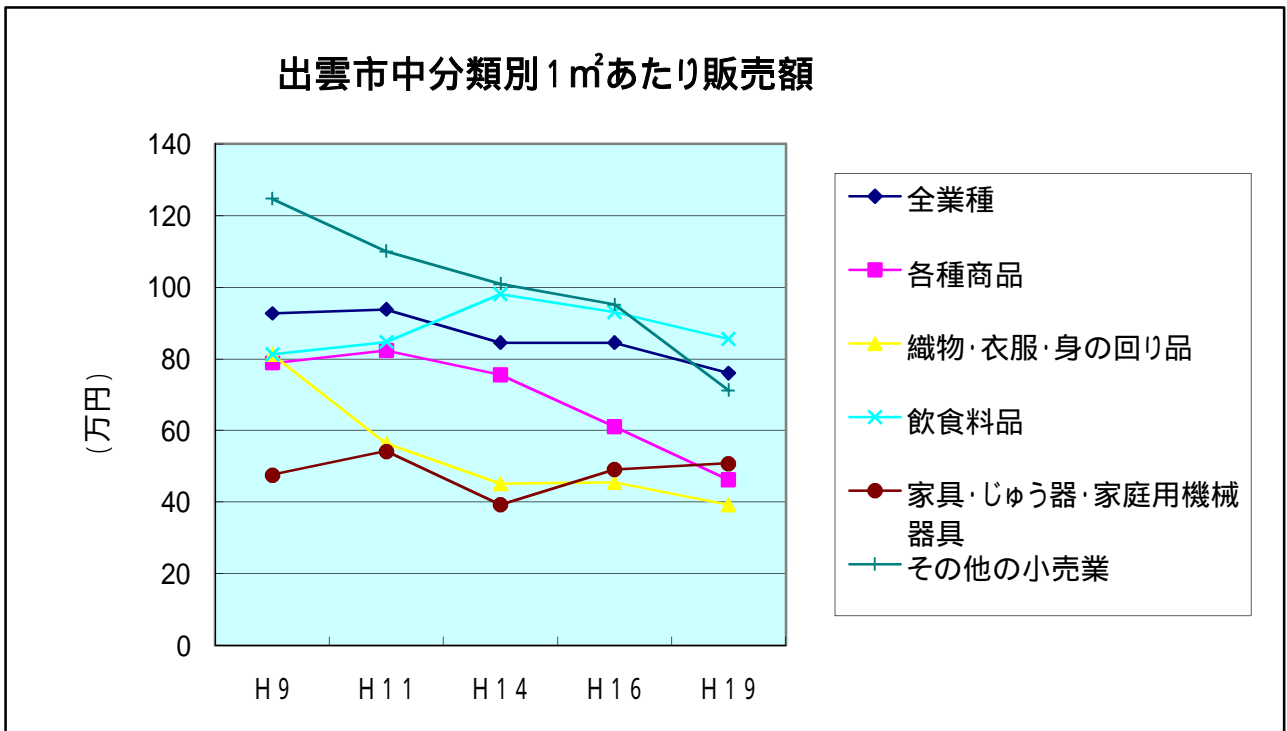
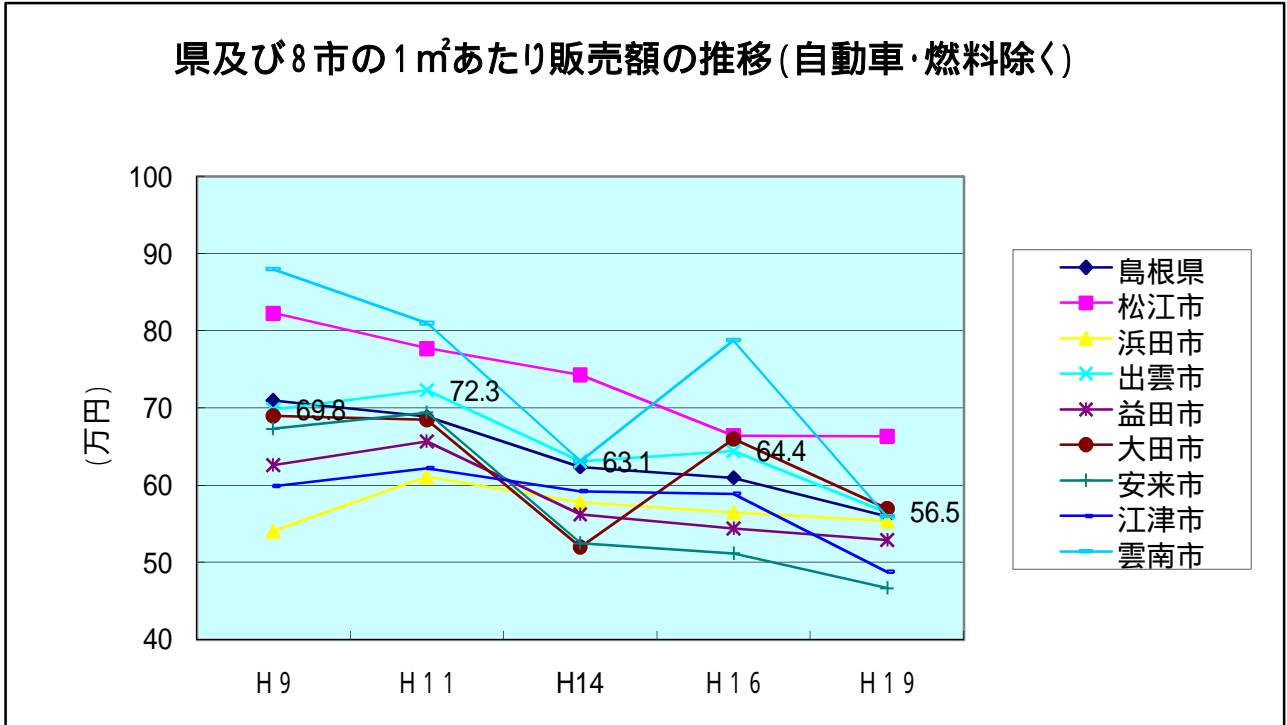


出雲市中分類別従業者あたり販売額



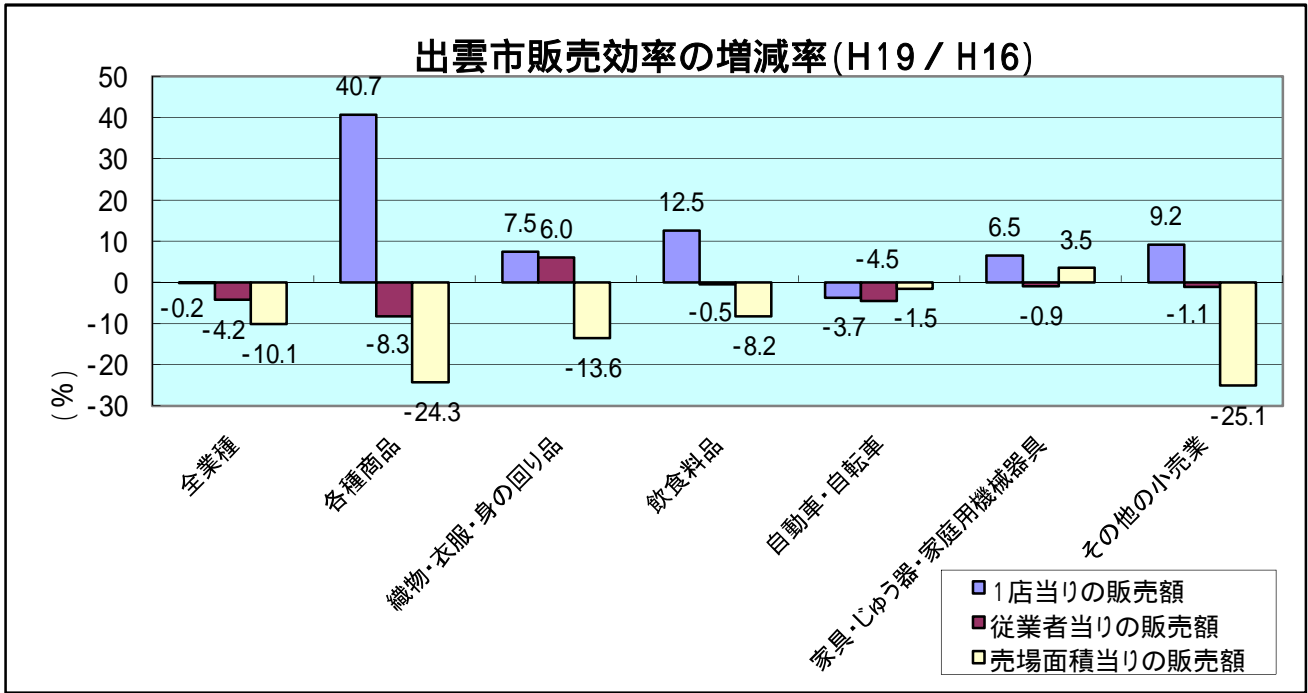
売場面積当りの年間販売額

1㎡当りの販売額（自動車・燃料除く）は、県平均が8.2%減少し56万円となっている。出雲市は10.9%、7万円の減少により57万円となっている。一方、松江市はほぼ横ばいの66万円となっている。出雲市の業種別1㎡当りの販売額では、「家具・じゅう器・家庭用機械」が唯一2万円増加し51万円となった。他の業種は「その他の小売業」の25.1%、「各種商品」の24.3%をはじめ全てで減少した。



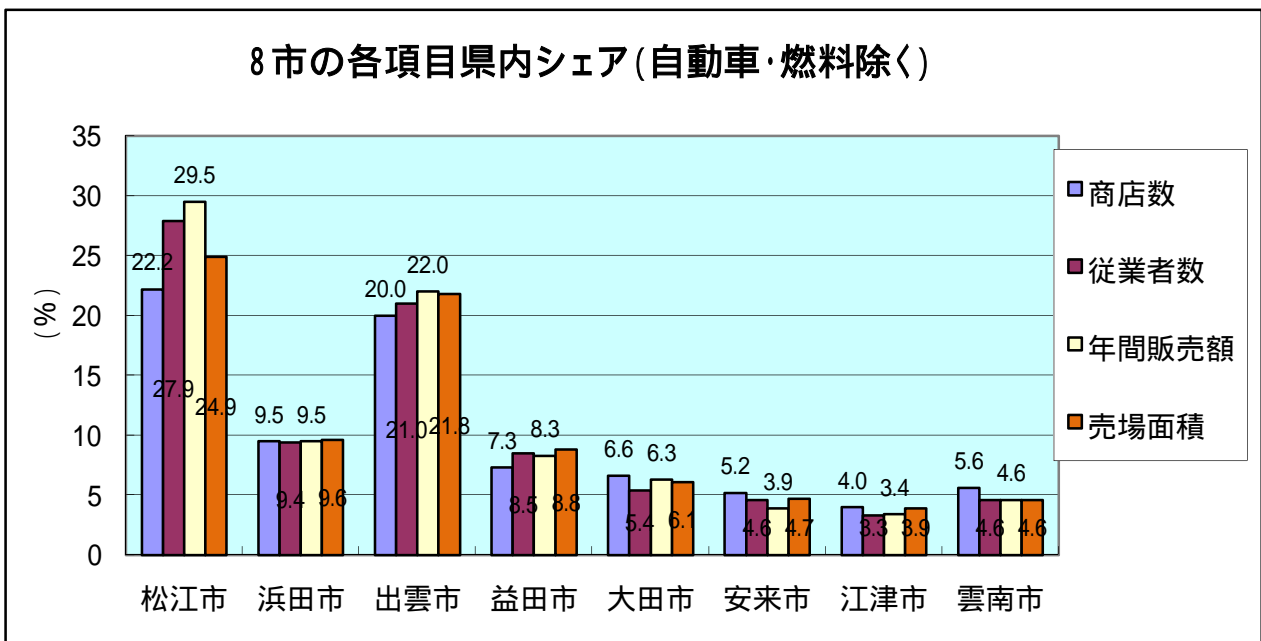
自動車・自転車の1㎡当り販売額・・・平成16年653万円 平成19年643万円

販売効率は、「各種商品」での40.7%など「自動車・自転車」を除いて1店あたりの効率は改善している。また、従業員あたりでは「織物・衣服・身の回り品」を除く全業種、面積あたりでは「家具・じゅう器・家庭用機械」を除く全業種が悪化している。



県下8市の状況

自動車・燃料を除く8市の県内シェアを見ると、年間販売額は松江市が29.5%、出雲市が22.0%、浜田市が9.5%などとなっている。出雲市は前回調査に比べ、1.2ポイント下降した。松江市と出雲市では、年間販売額のシェアが他の3項目に比べて高くなっており、1店当たり、従業員当たり、面積当りのいずれの販売効率も県平均を上回っていることがわかる。



出雲市の小売吸引率は、前回の 1.19 から 1.10 に下降し、松江市と同じである。県内では益田市が 1.18 で最高値を記録し、大田市と浜田市がそれぞれ 1.15、1.14 で続いている。安来市と雲南市、江津市は 1.0 を下回り、流出超過となっている。

